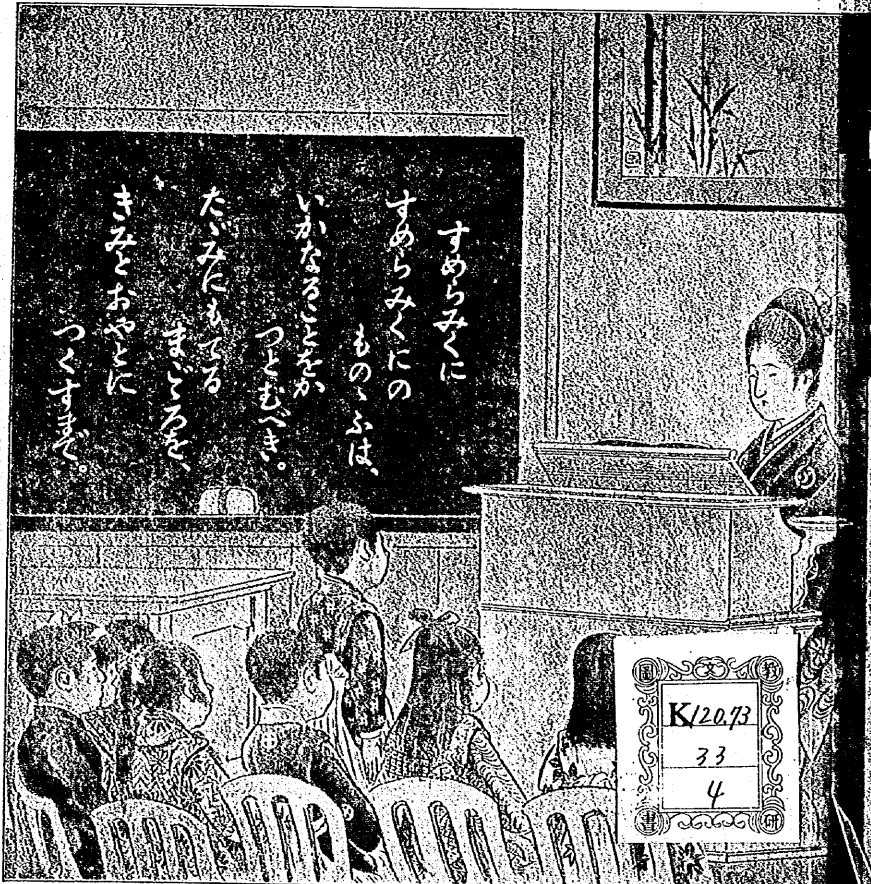


三 版  
教 科 適 用

237

# 幼 年 歌 唱

二 編 五 卷



K120.73

33

4

訂正再版

教科  
適中  
少年

幸  
唱  
歌

二  
編  
五  
卷

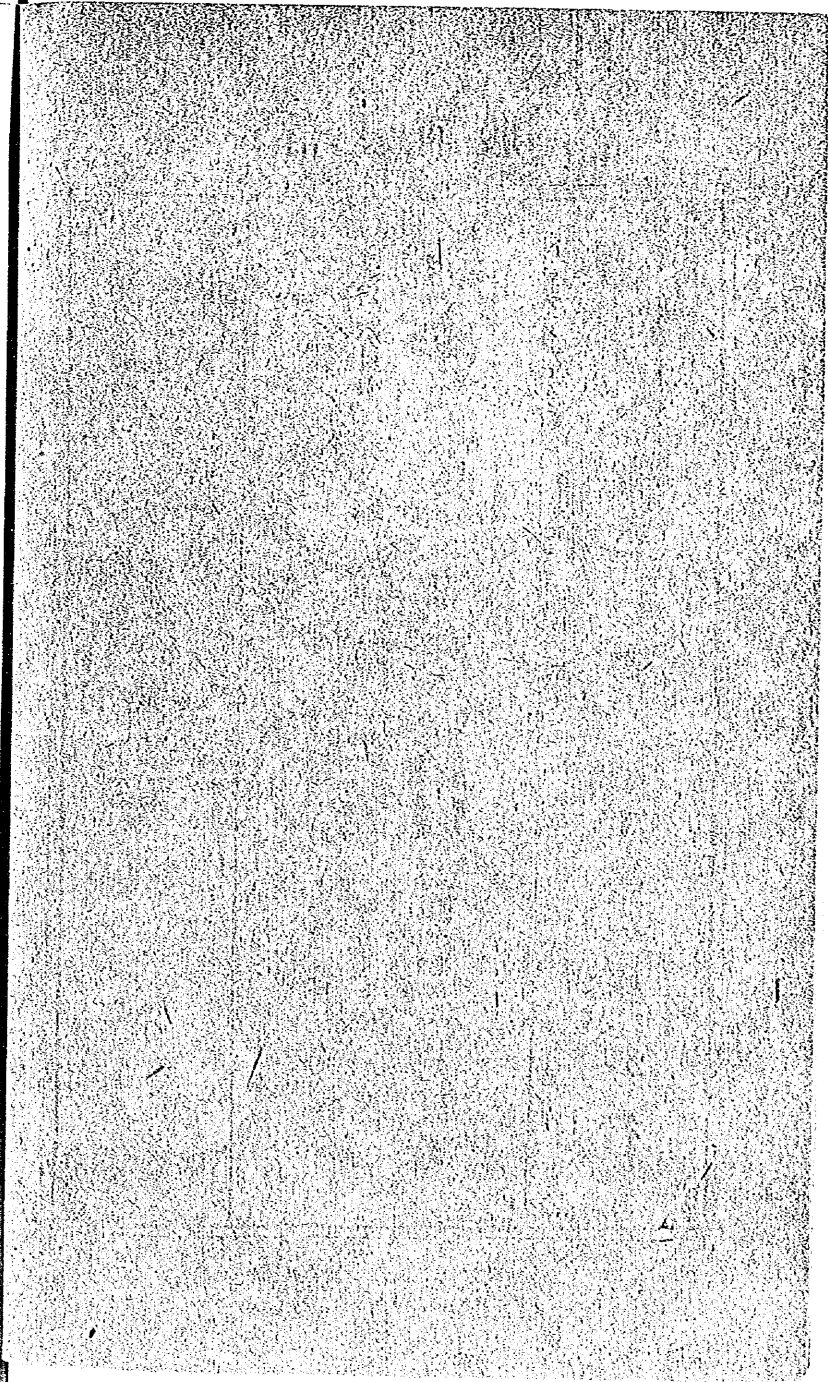
納所辨次郎  
田村虎藏  
共編



東京銀座  
十字屋發行



（此の如き者多し）



### 緒言

本書は、現今小學校の唱歌教授に於ける一般の弊習を救済し、教育的教授に適切なる教材を供給せんが爲に編纂せるものなり。而して其教材は、尋常第一學年より高等第四學年に至る迄、各學年各學期に配當したれば、順次編を逐ひて教科書に充て得べきものとす。編纂の要旨、下の如し。

一、題目、尋常科には専ら修身、讀書科に關係を有する事項、及び四季の風物に因みて之を取り、高等科には、更に地理、歴史、理科等の教科に關係を有する事項を加へ、以て各教科の統一を完からしめんことに力めたり。

一、歌詞、多年小學校教育に經驗を有する識者の手に成りて、兒

童の心情に訴へ、程度を察し、平易にして理解し易く、而も詩的興味を失はざるものより、漸く進みては、古今名家の作に及ぼし、以て國民感情の養成に資せんとせり。

一、曲節、多年編者研究の結果に出で、能く其音程、音域の如何を審査し、兒童が心身發達の程度を精察し、初は快活にして流暢なるものより、漸く優雅にして諄美なるものに進め、以て審美的感情を育成せんことを期せり。

以上の外、詳細の用意及び音楽上併に教授上の注意に至りては、毎卷これを記述せり。

明治三十四年六月三日

編者識す

### 教科幼年唱歌 貳編上卷

#### 凡例

一、本編は、尋常小學第二學年第一學期間に、教授すべき材料を配當せるものなり。而して歌曲の數八個は、毎週二時間宛教授するものとしての最多限なり。故に教授時間の事情により、これが取捨選擇は教師の任意たるべし。

一、本編の歌詞は、一般兒童にもよく了解せしめんが爲め、此學年讀書科の程度に鑑みて之を記載し、出來得べきだけ大字を用ひたり。曲節は凡て兒童の唱歌し得べき音域内に記譜したるが故に、記譜の各調子にて直ちに教授するを得べし。

一、本編歌曲の強弱は、片假名の略號及び他の諸記號にて之を表はせり。即ち「**f**」は強く、「**p**」は弱く、「**mf**」は中等に、「**mp**」はこれより稍や強く、「**ff**」は次第に強く、「**pp**」は次第に弱く、其數部分を謠ふべきことなり。強弱は、唱歌上最も大切なれば、注意せん事を要す。

教授上一般の注意

- 一、此學期にも、先づ氣息呼吸法を行ふべし。其方法は初編下巻に同じ。是れ唱歌するに先づて肺臟の運動を自在ならしむるものなれば、室内の空氣清淨なる日には、必ず之を行はん事を要す。呼吸法は、外國に於て専ら之を行ふものなるが、予は多年實驗に徴して、其効果の尠少なからざるを認めたるものなり。
- 二、次に發音の練習に移る。其方法第一學年に準じ、専ら五個の母音を種々に配合し、之を長音階の各階段に附して練習するなり。但し此際「7」及び「4」の二音は、之を省くも可也。音聲の使用方法及び、口授法によりて教授する順序方法は、初編中巻に同じ。而して呼吸法及び發音練習の二個練習は、教授時間の四分の一を超過せざる様注意すべし。
- 三、此他時々口形練習をも交へて、五母音の發聲を正確ならしむべし。且つ兒童唱歌教授上、繪畫を使用せんば、意外の興味を添ふるものなれば、教授者は該編中に挿入したる圖案を參考して、豫め一定の畫面を用意し、教授の際常に之を使用せんことを望む。
- 四、兒童の心情は、絶えず活動し且つ快活なり。故に歌曲の速度は概して急速なるを可とす。而して本編取むる所の八曲は、何れも之を遊戲の際に適用し得べく、尙ほ「大江山」「松山鏡」「兔と龜」は此學年に適したる修身訓話。「池に金魚」「蜻蛉」「鷺」等には理科思想を誦ひ、其他皆讀書科の材料に關係あるものなれば、他の諸教科に於て、又は教授者相當の問答講話をなしたる後、教授せん事を要す。

教科適用 幼年唱歌 貳編上卷

目次

春の野……………	作曲者 田村虎藏……………	七
蝶々……………	作曲者 納所辨次郎……………	九
大江山……………	作曲者 田村虎藏……………	十一
池に金魚……………	作曲者 宋詳(西洋曲)……………	十三
兔と龜……………	作曲者 納所辨次郎……………	十五
鷺……………	作曲者 田村虎藏……………	十七
蜻蛉……………	作曲者 多梅稚……………	十九
松山鏡……………	作曲者 納所辨次郎……………	廿一



は  
る  
の  
の

春のの

作 歌 田 邊 友 三 郎

一、ましろにみえし、ゆきさえて  
 のはおもしろく、なりけり、  
 草もほろろとふ。  
 ひばりも、春のさか  
 ぶくと、みえり、  
 なびく、やまの、  
 いつかと、まじり、  
 日もあたくし、  
 とも、さそひ、  
 すみれ、つみ、れんげ、とり、  
 あそぶ、たのし、春の、の、  
 ながき、ひかげの、うつる、まで、

春の野

(ト調二拍子)

優美 =

作曲 田村虎藏



| 5 1 1 3 | 2 1 6 | 5 6 5 3 | 5 0 | 6 1 5 6 | 1 2 3 |

1. マジロニ エシ エキキエ タ ノオモシロク  
 2. イツカト マチン ナサキ タ ヒモアタ カニ



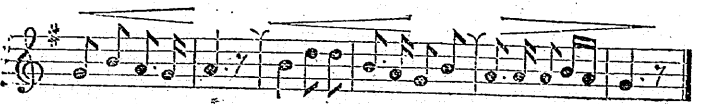
| 2 2 2 3 2 | 1 0 | 2 3 1 3 | 5 0 | 4 3 2 1 | 2 0 |

ナリニケーリ クサモ入 エ キモメバ  
 ナリニケーリ トモサソヒ カモサダ



| 3 5 3 2 | 1 0 | 2 3 2 1 | 6 0 | 5 6 5 3 | 5 5 6 |

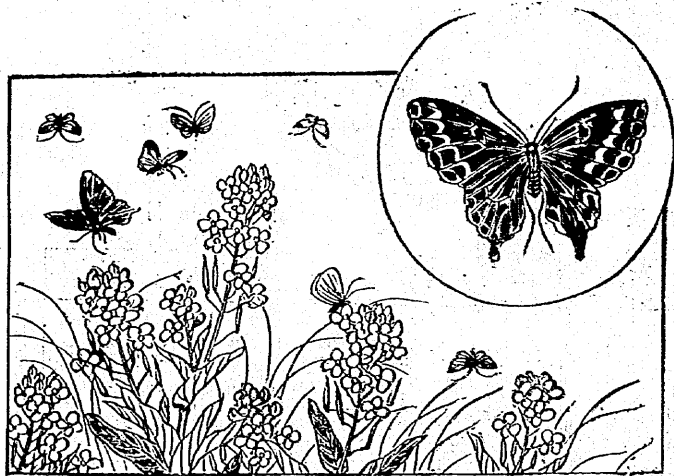
ヒバリナキ チョーモトフ フクトモミエ  
 スミレツミ レンゲトリ アソブモタノソ



| 1 3 2 1 | 2 0 | 3 5 5 | 3 2 1 3 | 2 2 2 3 2 | 1 0 ||

ハルカヒサ ナビク ヤナギニ シルバカー  
 ハルノノ ニ オガキ ヒカガノ ウツルマー

ちよーちよ



一、うめが ちるのか、 さくらの花か。

二、山ぶき ちるのか、 なたねの花か。

三、きいろの ちよーちよ、 ひら〜 ちよーちよ。

四、おせは そよぶく、 そよぶく、 おせに。

五、花と、 ちよーちよ、 おとこを みる。

作歌 石原和三郎

ちよーちよ

# 蝶々

(〜調二拍子)

優美 = 作曲 納所辨次郎



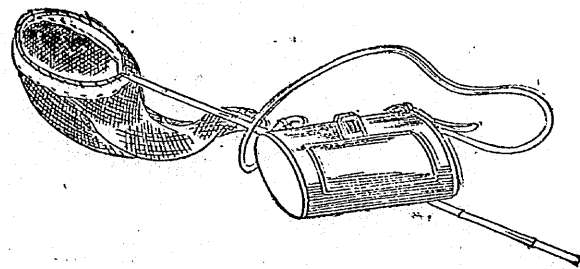
1. 2 3 3 | 3. 4 3 2 | 3. 4 3 2 | 1. 2 3 |

1. ウーメが チルノカ サクラノ ハナカ  
 2. ヤブキ チルノカ ナメノ ハナカ  
 3. カゼハ ヨヨフク ヨヨフク カゼニ



3. 4 5 | 5. 6 5 4 | 3. 4 3 2 | 1. 2 1 ||

ロイ チヨーチヨガ ヒラヒラ イフヨ  
 キイロ チヨーチヨガ ヒラヒラ イフヨ  
 ナト チヨーチヨガ オニオト スルヨ



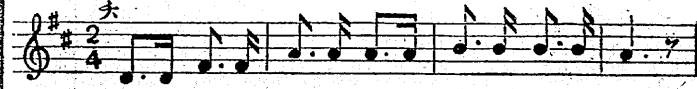


# 大 江 山

(に調二拍子)

活潑 = [軍歌体]

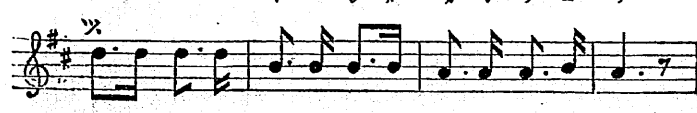
作曲 田村虎藏



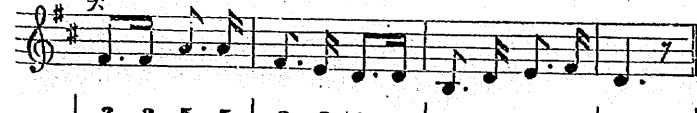
1.	1	3.	3	5.	5	5.	5	6.	6	6.	6	5.	0
1. 2. 3. 4.	△	カ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ
	シ	ラ	ラ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ
	オ	ホ	イ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ
		ホ	イ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ



3.	3	5.	5	3.	2	1.	1	6.	1	2.	3	1.	0
オ	ニ	ド	モ	オ	ホ	ク	シ	コ	シ	リ	シ	テ	シ
ト	キ	ソ	シ	メ	カ	ド	シ	メ	カ	ト	シ	シ	シ
マ	ヤ	ラ	シ	ス	ガ	シ	シ	カ	シ	シ	シ	シ	シ
シ	チ	ン	ー	ド	ー	ニ	ガ	シ	シ	シ	シ	シ	シ



1.	1	1.	1	6.	6	6.	6	5.	5	5.	6	5.	0
ミ	ヤ	コ	ニ	ア	タ	ハ	シ	ロ	ト	チ	ク	ヒ	シ
オ	シ	シ	キ	マ	シ	シ	シ	オ	ニ	シ	シ	シ	シ
シ	オ	オ	ニ	シ	カ	シ	シ	フ	カ	シ	シ	シ	シ
シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ



3.	3	5.	5	3.	2	1.	1	6.	1	2.	3	1.	0
カ	シ	シ	シ	カ	カ	ラ	チ	シ	シ	シ	シ	シ	シ
イ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ
シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ
シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ	シ

おほえやま

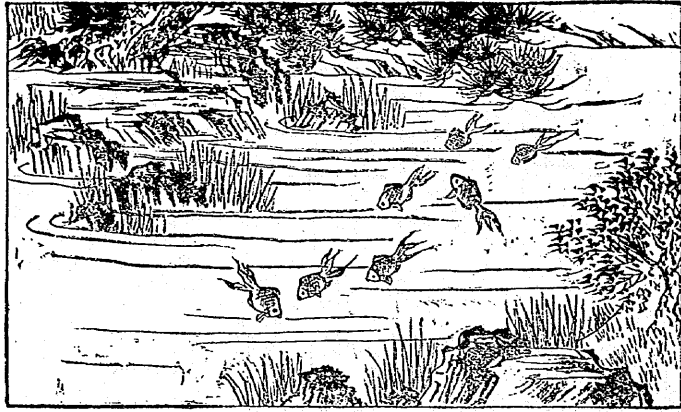
作歌 石原和三郎

一、むかし、たんばの、おほえやま、  
おにどもおほく、こもりぬて、  
みやこにては、人をくひ、  
かねやたからを、ぬすみゆく、  
二、げんじのたいしよー、らいこーは、  
ときのみかどの、みことのり、  
おうけまうして、おにたいし、  
いきほひよくも、でかけたり、  
三、けらいは、なだかき、四、天王、  
山ぶしすがたに、みをやつし、  
けはしき山や、ふかき谷、  
みちなきみちを、きりひらき、

おほえやま

四、おほえの山に、きてみれば、  
しゆてんどーじが、かしらにて、  
あをおに、あかたに、あつまつて、  
まへようたへの、大さわざ、  
五、かねてよーいの、どくのさけ、  
すゝめておにを、よひつぶし、  
おひのなかり、とりいだす、  
よろひかぶとに、みをかため、  
六、おどろきまどふ、おにどもを、  
ひとり、のこさず、きりころし、  
しゆてんどーじの、くびをと、  
めでたくみやこに、かへりけり、

十二



いけにきんぎょ

いけにきんぎょよ

作歌 田邊友三郎

一、にはの、中なかに、 おいけをほりて、  
 五つ、七つ、 はなしたきんぎょ、  
 いたりきたり、 小こじまのかげを、  
 みえてかくれ、 かくれてみえて、  
 おそくはやく、 およいでまはる。  
 二、いけのみづは、 きれいにすみて、  
 およぎあそぶ、 われらのきんぎょ、  
 はなれつあひつ、 ひれふりをふり、  
 ひれとをとは、 てあしのかはり、  
 みづをかきて、 ういてはしづむ。

十三

## 池に金魚

(= 調二拍子)

快活  $\text{♩}$   
大

作曲 未 詳

1.  $\text{ニイ}$   $\text{ハケ}$   $\text{ノ}$   $\text{ナ}$   $\text{カツ}$   $\text{ニハ}$   $\text{オキ}$   $\text{イレ}$   $\text{ケイ}$   $\text{チニ}$   $\text{ホス}$   $\text{シミ}$   $\text{チア}$

2.  $\text{ヨ}$   $\text{イハ}$   $\text{ツナ}$   $\text{レ}$   $\text{ツ}$   $\text{キア}$   $\text{キア}$   $\text{ヒツ}$   $\text{コヒ}$   $\text{シレ}$   $\text{セフ}$   $\text{ノリ}$   $\text{カチ}$   $\text{ツア}$   $\text{チイ}$

3.  $\text{ミロ}$   $\text{ユレ}$   $\text{テト}$   $\text{カチ}$   $\text{クテ}$   $\text{レハ}$   $\text{カチ}$   $\text{クア}$   $\text{レシ}$   $\text{チノ}$   $\text{ミカ}$   $\text{エハ}$   $\text{チリ}$

4.  $\text{オミ}$   $\text{ソツ}$   $\text{クチ}$   $\text{ハカ}$   $\text{ヤキ}$   $\text{クテ}$   $\text{オツ}$   $\text{ヨイ}$   $\text{イテ}$   $\text{デハ}$   $\text{マツ}$   $\text{ハツ}$   $\text{ルハ}$

十二





わ  
し

わし 作歌 石原和三郎

一すごいまなこは千りをにらみ  
つよいつばさは万りをかける  
とりの王。 とりの王。

あの、あらわし、  
あの、あらわし。

二とがるくちばし、とらをもころし、  
まがるつめでは、くぢらもつかむ、  
とりの王。 とりの王。

あの、あらわし、  
あの、あらわし。

七

鷺

(へ 調二拍子)

勇壯

作曲 田村虎藏



5 5. 5 | 1. 1 1 1 | 2. 3 2 1 | 6. 6. 6. 0 |

1. スゴイ マナコ ハ センリチ ニラミ  
2. トガル クチバシ トラチモ コロシ



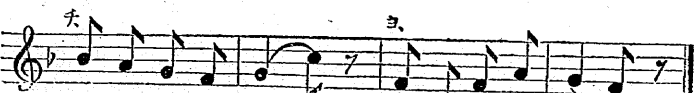
1 1. 1 | 5. 5. 1 3 | 2. 2 2 2 | 3 2 1 0 |

ツロイ ツバサハ パンリチ カケル  
マガル ツメデハ クシラモ ツカ



5 5. 5 | 6 5 0 | 3 3. 3 | 5 3 0 |

トリノ オ - トリノ オ -  
トリノ オ - トリノ オ -



4 3 2 1 | 5 0 | 1 5 1 3 | 2 1 0 ||

7 7 7 7 ヲ ヲ 7 7 7 7 ヲ  
7 7 7 7 ヲ ヲ 7 7 7 7 ヲ

十六





三十一

一 まへの母にも 今ものにも  
 われは一つに つかふるを  
 なにゆゑいまの はうへに  
 かあいがられぬ われなるぞ  
 二 かたみのかがみ とりいだし  
 むかへばうつる おもかげは  
 こひしきまへの はうへか  
 ものいはれぬは なにゆゑぞ  
 三 かくれてみしより うたがひの  
 くもはひとたび かかりしも  
 まことの心に はれわたる  
 まつ山かがみ 子のかがみ

三十一

松山かがみ

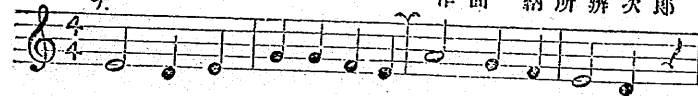
作歌 田邊友三郎

松山鏡

(ハ調二拍子)

餘 延シナシ

作曲 納所辨次郎



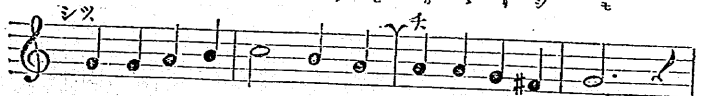
3-2 3 | 5 5 4 3 | 6-5 4 | 5-2 0 |

1. マーヘノ ハハニモ イーマノ ニーモ  
 2. カタミノ カーバミ トーリイ ターシ  
 3. ガクレテ ミシヨリ ウーカ ヒーノ



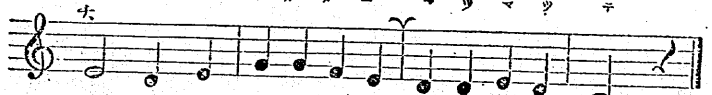
1-2 3 | 5 5 4 3 | 2 2 3 2 | 1- 0 |

ヤーレ ハ ヒト ツニ ツカフル ラ  
 ムカヘ バ ウー ツル オモカゲ ハ  
 ムーモ ハ ヒト タビカ シモ



5 5 6 7 | i-7 6 | 6 6 5 4 | 5- 0 |

ナニユエ イーマノ ハハウヘ ニ  
 コヒシキ マーヘノ ハハウヘ カ  
 アナオニ アカオニ マツマツ テ



3-2 3 | 5 5 4 3 | 2 2 3 2 | 1- 0 |

カーア イ ガラレ ヌ ヲレ ナル ヲ  
 モノイ ハ レー ヌ ハ ナニユエ ヲ  
 マツヤ マ カーガ ミ コノカガ ミ

三十一

K1357

明明明明  
 治治治治  
 卅卅卅卅  
 六六五四  
 年年年年  
 七三六六  
 月月月月  
 十廿廿一  
 八五三  
 日日日日  
 訂訂再發  
 正正三版  
 三版印發  
 版發行刷



(ズサ許ヲ寫謄及譜譯)

編者

東京市麴町區下二番町六十二番地  
 同 市牛込區白銀町三十五番地

納所 辨次郎

田村 虎藏

發行者

同 市京橋區銀座三丁目二番地  
 同 市京橋區銀座三丁目二番地

倉田 繁太郎

發行所

同 市日本橋區傳正町十二番地  
 同 市京橋區元數寄屋町四丁目二番地

十字 屋

印刷者

同 市京橋區元數寄屋町四丁目二番地

赤田 末吉

印刷所

同 市京橋區元數寄屋町四丁目二番地

福岡商店印刷部

正價金拾錢

